



寄せ植えのポイント

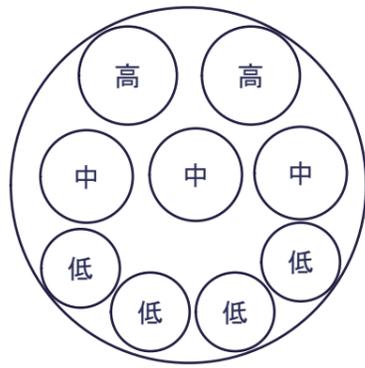
今回のボーダー花壇、そして、コンテナ花壇の植え替えの前に、寄せ植えをおしゃれにするポイントを2つ解説させて頂きました。

①高さ

目線の一番奥になる部分に、一番背が高くなる植物（主役・目立つ）、次に中くらいになるもの、最後に、背の低いものを配置します。こうすることで、奥行き感・立体感が演出できます。



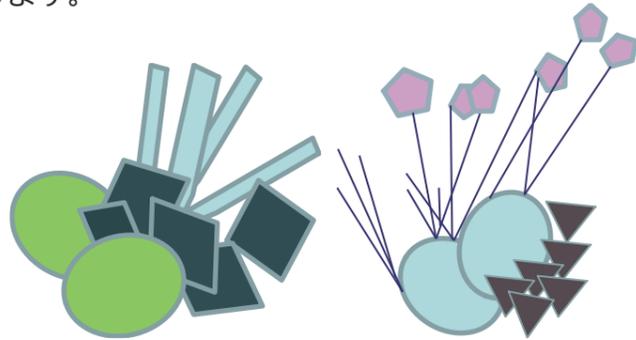
写真上：ボーダー花壇での例 丸 - 背の高いもの、四角形 - 中くらいの背丈のもの、五角形 - 背の低いもの



図：コンテナ（鉢）での寄せ植え例 一番奥に背の高いもの、手前に背の低いものを配置している。

②葉の色と形

自然界の植物の葉の形は様々です。よく目にする葉っぱ型の葉だけではなく、丸い形、三角形、線形、レースみたいな形、モフモフした形など。そして、葉の色も、緑色だけではなく、銅色・黒色・白色・斑入り葉等があります。葉型や葉色は、寄せ植えを引き締めて、主役のアクセントとなります。



図：葉の形と葉の色を組み合わせることで寄せ植えを簡易に表現したもの。葉型や葉色の組み合わせで雰囲気が変わることの参考に。



写真上：寄せ植えの具体例。左側写真は、葉色と葉型をうまく利用した例。右側写真は、花で高低差を出した例。



ボーダー花壇のようなウナギの寝床型の花壇、たたみ一畳以下の狭小花壇、そして、コンテナへの寄せ植えも、この2つのポイントを組み合わせることで、素敵なガーデンができます。小さな鉢に寄せ植えを自作しお友達にプレゼントするときにも、この方法は生かせます。Let's try ~♪

写真右：みんなで寄せ植えをした完成形（9月30日撮影）。撮影時点では、まだ苗が小さく、花の盛りを迎えてはいませんでした。ぜひ、現場に足を運び、現在の様子をお楽しみください。



質問コーナー

Q. コンテナや鉢に寄せ植えをつくる時、一緒に植えてよい植物のグループを教えてください。生長性のちがいや水やりのタイミングが違うとか、日向が好きとか、日影が好きとかで分かれるのはわかっていますが、植物の種類をあまりたくさん知らないです。

まずは、以下から開始していただけますと、寄せ植えがしやすいかと思います。

- ・ 同時期に店頭で並んでいる植物同士を寄せ植えする。
- ・ 花の苗を購入するときに、ラベルに注意して、ラベルの日照（日向、半日陰）でそろえる。
- ・ 多肉植物は多肉植物のみで寄せ植えをする。

寄せ植えをしてからは、以下の点に注意してください。

- ・ 水のやりすぎに注意（割りばしの準備を）
- ・ 風通しに注意
- ・ 日当たりに注意
- ・ 切り戻しをする

寄せ植えの失敗で一番多いのが、「水のやりすぎ」です。水をやりすぎると、土に根が張る前に根腐れしてしまふことがあります。水やりのタイミングを計るのに必要となるのが、割りばし！割りばしを土に刺し、土の乾き具合を確認しながら、乾いてきたら水をたっぷりあげてください。

寄せ植えは、なるべく風通しのよい場所においてあげてください。（アサギリソウやセロシヤなどを寄せ植えした場合、これらは蒸れに弱いので、乾燥しやすい場所のほうが生育しやすいです。）

花付きがよいものは、南か東においてあげる方が花付きがよくなります。

「北向きのベランダだけど、寄せ植えがしたいよ」という場合もあるかもしれません。そういう場合は、日陰に強いカラーリーフ（ヒューケラという植物は、何色も葉色があります）だけで寄せ植えを楽しむという手もあります。半日陰の場合、ヒューケラ・アジサイ・ホスタなどで寄せ植えを楽しむこともできます。北向きでも、地面付近は日陰だが、上部に光が当たる塀の際などでは、ハンギングバスケットを用いれば、花を入れた寄せ植えが楽しめる場合もあります。

- ・ 寄せ植えの植物が生長して、株の形が崩れてきたり、花数が減ってきたら、切り戻しを行ってください。（思い切って切りましょう。）そして、切り戻した植物は、水切りをしたのち、グラス・ティーカップ・ジャムの空き瓶・小さいフラスコ・小瓶など、家にある器や雑貨風のものに飾ってあげると、寄せ植えとはひとあじ違った風情を楽しませてくれます。

最後に、花にも時期があります。時期が終わって植え替える時がくるかもしれません。（年中持つ草花もあれば、1箇所だけお花が交代することもあるかも。）その時は、花に学びと楽しみを頂いたお礼の気持ちと共に、新たな寄せ植えを楽しんで頂ければと思います。

寄せ植えに失敗はありませんよ！挑戦あるのみ！寄せ植えマスターは、挑戦に次ぐ挑戦で出来上がります！みなさんのお好きなペースでぜひ、お楽しみ頂ければと思います。

Q. 植物を切り戻すときの場所を教えてください。どこから切ればよいのでしょうか？

皆さんよく悩まれる問題ですが、草花の場合、切り戻す場所は、実はそんなに難しくありません。切り戻す際に意識してほしいのは、「切り戻す草花がどの位置で咲いてほしいか」です。

高い位置で咲いてほしい時は、株の三分の二残して切り戻す。逆に足元でコンパクトに咲いてほしい時は、三分の一残して切り戻す。迷った時は、株全体の半分くらいの高さの場所で切りそろえる。たったこれだけを心掛けてください。切り戻すことで植物は、「自分の身に大変なことが起きている!？」と勘違いし、葉や花を勢いよく出すようになります。

切り戻したら枯れてしまった・・・という声も時に聞きます。ですが、基本的に植物は切っても枯れることはほぼありません。その場合、原因は他にあり、『切り戻す前と同量の水やり』をしていた、というケースが大半です。過保護にするよりも少しスパルタの方が植物はよく成長してくれるので、水やりは土が乾いたらたっぷり！を心がけてください。

- ・ 切り戻し上達のコツは、植物の観察です。どれだけ切ればどれだけ伸びるか、どこから芽が出てくるか・・・観察を繰り返すうちに、色々な発見があると思います。そういった小さな発見の積み重ねを楽しみ、植物に触れて頂ければ、知らないうちに切り戻しマスターになっているはずですよ！